

株主・投資家の皆様からよく寄せられる、
当社やアルミニウム圧延業界に関するご質問に、お答えします。

Q アルミニウム板の製造プロセスについて
教えてください。

A まず、アルミニウムの地金(じがね)を溶かし(溶解)、不純物を取り除き、大きな直方体のアルミニウムの塊(スラブ)をつくります。たとえば福井製造所のスラブは、最大で幅2.3メートル、長さ10メートル、重さ32トンにも及びます。表面を削り、スラブの芯の部分まで均等に熱が

行き渡るように均熱処理を行い、スラブは最高600℃に熱せられ、熱間圧延ラインに運ばれます。熱間圧延機でスラブを延ばし、3mm程度に薄くなった板はコイル状に巻き取られていきます(熱間圧延)。その後、冷間圧延機で、板の厚さや平坦度などをコントロールしながら、圧延を行い(冷間圧延)、用途に応じて強度が調整されます。最終的に、缶などの製品に応じて仕上げ処理(表面処理・塗装など)がなされ、お客様に納品されます。

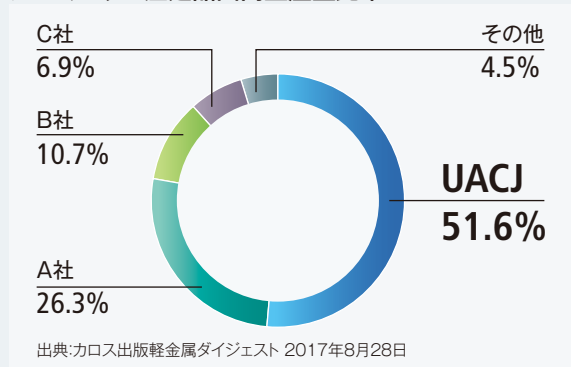
アルミニウムの加工プロセス



Q 国内のアルミニウム業界におけるUACJのポジションは？

A 2016年度の全世界への販売量は102万トンに達しており、国内アルミニウム業界ではNo.1のポジションを維持しています。

アルミニウム圧延品国内生産量比率



Q 主なお客様は？

A 製缶メーカー、製箔メーカー、電子部品メーカー、自動車・部品メーカー、金属商社、造船メーカーなど、幅広い産業分野にわたっています。

Q 世界のアルミニウム業界におけるUACJのポジションは？

A アルミニウムの圧延販売数量は、年間約100万トンで、Novelis社、Arconic社など、世界のアルミニウムメジャー企業に続く規模を誇ります。

Q 海外市場向けの売上高比率、販売数量は？

A 中期経営計画「Global Step I」において、グローバル営業体制の強化を目標に掲げています。施策を着実に進めたことで、海外売上高比率は、2014年度の36.7%から2016年度は38.5%に、海外市場向け販売数量は、年々増加しています。

Q 有利子負債が多いようですが、財務の健全性はいかがですか？

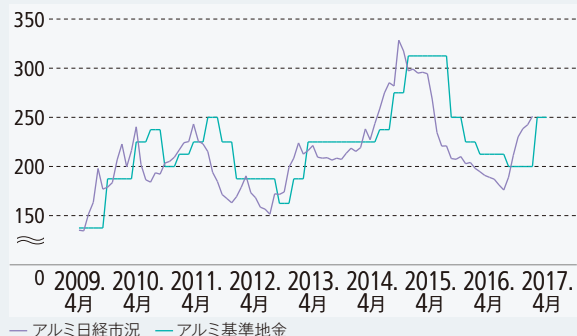
A 当社グループでは、中期経営計画の成長戦略に基づき、今後の成長を見据えた先行投資を積極的に行っています。このため、現在は借入が増加している状況ですが、今後は投資回収期に入っていきものと見ています。今後も財務の健全性と投資のバランスを重視しながらグループ経営を進めていきます。

Q 地金価格の変動は業績に影響がありますか？

A 当社グループの主要原料であるアルミニウムや銅の地金価格は相場によって変動します。製品の販売価格は基本的に「地金価格+加工賃(ロールマージン)」となるため、地金価格と連動して変動しますが、当社グループでは、お客様とあらかじめ決めたルールに従い、相場が変動した場合でも価格に概ね転嫁させていただいています。このため、業績面では大きな影響を受けません。

アルミ地金日経平均・アルミ基準地金

単位:円/kg



Q 利益面の説明にある「棚卸評価関係」について教えてください。

A 当社グループの売値のベースとなる地金価格と、実際に購入した地金価格の違い、および当社の購入した価格と、在庫の払出し総平均価格との差から生じる評価損益です。地金が高い時に購入し、その後、地金価格が下落傾向にあれば、棚卸評価関係はマイナスとなります。逆に、地金が安い時に購入し、その後、地金価格が上昇基調になると、棚卸評価関係はプラスとなります。

Q 原油価格の変動は業績に影響がありますか？

A 原油価格が1ドル変動すると、経常損益の変動は約1億円となります。

Q 為替の変動は業績に影響がありますか？

A 大きな影響はありません。

Q 天候の状況は業績に影響がありますか？

A 猛暑の場合にはエアコンや飲料缶の出荷が増加し、これらに使われるアルミニウム製品の売上が向上する傾向がありましたが、以前と比べてその相関性は弱くなりつつあります。